

# 充電式殺虫器 電撃！ちよこっと 屋外用 NEW

●商標登録済



## 殺虫灯&ランタン&トーチの3ウェイ仕様 充電式なのでどこでも使えます。

### ■使用方法



点灯時間 約11時間

**殺虫灯**  
UV光源で誘引された蚊や虫を高電圧で感電させ、駆除します



点灯時間 約13時間

**トーチ**  
夜間や暗所での移動時に全光束/60Lm



点灯時間 約8時間

**ランタン**  
優しい光で周囲を照らします 全光束/40Lm

点灯時間 /  
殺虫灯…約11時間  
トーチのみ…約13時間  
ランタンのみ…約8時間

殺虫灯・トーチ…約5時間  
殺虫灯・ランタン…約4時間  
トーチ・ランタン…約4.5時間  
全点灯…約3時間



収納式持ち手&フック

型 式	使用電池	定格 二次電圧	防塵防水 構造	充電時間 (h)	充電可能 回数	参考有効 範囲 (㎡)	適合捕虫用 ランプ	摘 要	質 量 (kg)	標準価格 (円)
<b>DGK-1B</b>	リチウムイオン バッテリー	DC500V	IP44	約5.5 ※	約500回	約20	専用LED管	USBケーブル プラシ(清掃用)	0.26	オープン価格

●乳幼児やペットが触れないよう使用してください。●参考有効範囲は蚊や虫の種類、設置場所の状況によって差が発生する場合があります。●本製品を設置した場所にいるすべての蚊や虫を駆除できるわけではありません。また蚊や虫の種類によって効果は異なります。●日中や設置場所によって効果が得られにくい場合があります。  
※USB出力 5V / 1A時

### 蚊の生態について(参考)

蚊の種類はさまざまですが、日本国内において都市部や農村部など広い範囲で見られるのがヒトスジシマカとイエカ(アカイエカ・チカイエカ)です。



#### ヒトスジシマカ(やぶ蚊)

基本的に昼間に行動し、夏は活動的になる。10月末(地域によっては11月上旬)まで卵を産み、**卵の状態**で越冬する。卵は乾燥に強く、春になって卵が水に触れると孵化する。行動範囲は約50m~100mと狭く、この蚊がいた場合、近くに発生源があることが多い。産卵は竹の切り株や植木鉢の水受け皿など少量の水でも行う。そういった場所は水が干上がりやすいため、卵は乾燥に強く、降雨など次に水に浸かるまで乾燥状態でも生きられる。

外観の特長 / 成虫の体長は約4.5mm、黒色に白色のシマ模様がある



#### アカイエカ

夜行性で昼間はあまり行動せずに暗い場所で過ごしている。春と秋に活動的になり、暑さに弱いため夏は活動的ではない。冬は**成虫の状態**で越冬するが、休眠状態のため**吸血活動は行わない**。行動範囲は数百m~数kmと広い。

外観の特長 / 成虫の体長は約5mm、全体に赤褐色で、目立った模様はなく、アカイエカとチカイエカは外観での違いはほぼない

#### チカイエカ

アカイエカの亜種であるチカイエカは、地下鉄構内やビルの地下などの都市化が進んだ地域に多く生息しており、寒さに強く、冬眠はせずに**冬でも吸血活動を起こす**。冬の吸血被害はこの蚊によるものである。

### 蚊の一生

**卵**  
蚊の種類によって産卵形態や産卵数は異なるが、産卵後、約2~5日で孵化しポウフラになる。

**幼虫(ポウフラ)**  
微生物や有機物を食料に水中で生息し、蚊の種類に関係なく、4回脱皮を行い、約7~10日で蛹(オニポウフラ)になる。

**蛹(オニポウフラ)**  
食料は取らないが、運動性のある蛹で、約3日で羽化し成虫になる。

**成虫(蚊)**  
オスもメスも普段は花の蜜などを栄養としているが、メスが産卵時の栄養補給として吸血活動を行い、約1カ月生存する。

### どうやって生物を感知しているのか?

蚊が吸血を行う場合、生物が発する二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、におい、**熱(体温)**で感知していると言われており、ヒトスジシマカの場合、人の周囲3~4m程度が感知可能とされている。

熱(体温)



### 吸血活動の種類

吸血活動は待ち伏せ型と探索型の2つに区分され、ヒトスジシマカは待ち伏せ型で動物が通りかかるまで葉の裏や茂みに身を隠している。探索型のイエカは動物を探すために積極的に飛び回るため、行動範囲が数キロと広い。



待ち伏せ型

探索型

